

兵高教組 調査情報 2018年5月1日 2号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745
FAX : 078-351-3185
URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>
mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

「子どもたち、そして教職員の幸せのために奮闘を！」 高教組委員長呼びかけ



第1回教育長交渉

4月25日(水)、女性交流館にて教育長交渉が行われ、従来の労使慣行を尊重するとともに、相互の信頼関係を大切にしながら、今後とも進めていくことが確認されました。

「勤務時間の適正化は大きな課題」

県教委 西上教育長あいさつ(抜粋)

今年兵庫県は、「県政150年」次の時代をめがけての節目の年。「行財政構造改革」最終年度。教育委員会では、「第2期ひょうご教育創造プラン」最終年度の節目で今年の課題。

特に教職員の勤務時間の適正化は大きな課題だと認識している。どういったことができるか。一緒になりながら取り組んで参りたい。

何よりもまず協力関係というのは重要。従来の労使慣行を尊重するとともに、相互の信頼関係を大切にしながら、今後とも進めて参りたい。

「憲法が息づく学校作りを」

高教組 小野中央執行委員長あいさつ

今年度も委員長をすることとなりました小野です。年度当初に当たって、高教組を代表して一言あいさつをします。

私たち高教組はずいぶん前から独立した組織を作って、高校生への就学援助を行ってきています。就学援助といっても教科書補助のわずか4000円ですが、この援助には多くの方が申請してきます。その申請理由をみて、毎年思いますが、経済的なことなど心配せずに安心して学んでほしいという親心と、少しでも家計を助けたらいいという子どもたちの気持ちにふれて、この国はいったいどうなっているんだと本当に胸が痛みます。

また、尼崎市のある県立高校の大学予約奨学金の申請者ですが、2015年は147人で全校生の46%だったのが、昨年度は201人、63%となり、わずか二年間で17ポイント急増しており、今後、その返還への不安を抱えながらの大学生活そしてその後の社会人生活となります。

このように、生徒の貧困をめぐる問題は本当に深刻だと感じます。確かに、貧困という言葉

は多く耳にするようになりましたが、子どもたちの深刻な実相というものは中々見えにくい、そう感じます。

貧困は経済的な問題というだけではなく、子どもたちの家庭環境そのもの、さらに子どもたちの心に深い影を落としています。そして、そのしんどさを抱えながら学校生活を送っている生徒たちが、県下の高校や特別支援学校にいます。

今、私たち教職員はこのような社会と、その中で苦悩する子どもたちやその家庭とどのように向き合っていけばいいのか、そのことが大きく問われています。

主権者でありたい、憲法の擁護者でありたい、そういう大人でありたいと強く思います。

そして、憲法26条を始め、憲法が息づく学校にしていきたい、心からそう思います。

昨年も言いましたが、子どもたちの周りには子どもたちを支える多く大人たちがいます。そして、教育委員会事務局の人たちも、その大切な一員です。確かに教育委員会と教職員組合とは立場が違います。しかし、子どもの成長をまん中におき、教職員の幸せを考える、その方向性は全く同じだと信じています。

今年もお互いの信頼関係を積み上げながら、子どもたち、そして教職員の幸せのためにともに頑張っていく、その決意と期待を申し上げて挨拶とします。

高教組の年度当初要求項目

1. 未来を担う子どもたちの教育をよりよいものにするために、教育予算の増額、教職員定数の増加など、教育条件整備をはかること。
2. 教職員が安心して教育に打ち込めるようにするために
 - 1) 県「行革」による賃金削減と管理統制強化をやめ、労働条件を抜本的に改善すること。
 - 2) 人事異動の方針、あり方について協議すること。

豊富なメニューと資料でとても役立つ、採用をめざす学習会！多くの仲間たちと集まって交流できるいい機会です。誘い合って是非お越し下さい！

日時：5月6日(日) 13:30～16:45
場所：中央労働センター(JR・阪神元町西口より徒歩15分)
資料代等：300円

臨時教職員の集い 2018採用をめざす学習会